

# 第18回日本医学英語教育学会を岡山で開催して

## Hosting the 18th JASMEE Academic Meeting in Okayama

会長 伊達 勲 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 脳神経外科学)

Isao Date (Department of Neurological Surgery, Okayama University Graduate School of Medicine, Dentistry and Pharmaceutical Sciences)

第18回日本医学英語教育学会 (JASMEE, Japan Society for Medical English Education) 学術集会を2015年7月18日 (土), 19日 (日) に会長として岡山コンベンションセンターで主催いたしました (図1, 2). 本学会は, 全国の医学部をはじめとする医療系大学で医学英語教育に携わる医師, 英語の教官などを会員 (外国人会員が約20%) とし, 医学英語教育を効果的に行うための様々な方法やその成果を発表し討論する学会です. また学会では日本医学英語検定試験 (医英検) を主催し, 私は現在, 理事長としてその普及につとめています. 今回の学会には全国から約200名の参加があり, 2日間にわたって活発な討論が行われました. 本学会を岡山で開催することができましたことを大変光栄に存じますとともに, 学会が成功裏に終了しましたことを関係の皆様へ深謝申し上げます.

シンポジウムでは「病院に外国人患者を受け入れるために」をとりあげました. グローバル化が叫ばれる中, 日本のどこの病院でも外国人患者の受診が増えて

います. シンポジウムでは, 外国人患者受入医療機関認証制度, 実際に外国人患者を受け入れている病院の実情, そして, 外国人患者の診察に役立つ英語の講演をいただきました. 今後, 外国人患者を受け入れる体制を整えようとしている病院に勤務する医学英語教育関係者にとっては, 有益なシンポジウムになったと思います.

教育講演の一つは医学関係の学会の国際化を取り上げました. 日本医学放射線学会では抄録を全て英語とし, プレゼンテーションも英語を推奨, という試みを数年前から行っており, その具体的な内容を, 岡山大学放射線科教授の金澤右先生に講演いただきました. 学会の国際化をステップバイステップに進めていく為に大いに参考になりました. また, ミャンマーは英語ですべての医学教育が行われており岡山大学との医学



図1 会長挨拶 (伊達 勲)

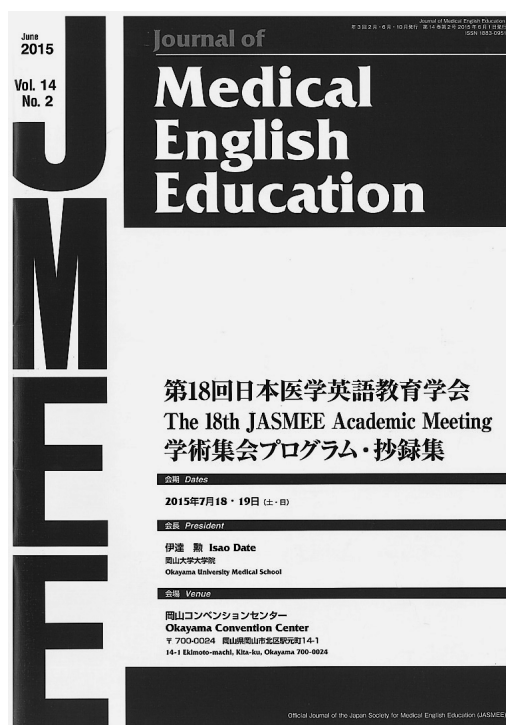


図2 学会プログラムの表紙

交流が盛んです。そこで、交流の先頭に立っておられる形成外科教授の木股敬裕先生に、もう一つの教育講演をお願いし、「ミャンマーの医学教育と岡山大学との医学交流」という題でお話いただきました。英語圏から留学生や医師を受け入れる際に、臨床の現場でのカンファレンスをどのように運用するかなどの有益な情報を得ることができました。

ワークショップでは世界標準を遵守した医学英語教育を行う上で、学会員がキーポイントと考えている問題をピックアップし、学会場内の机の位置を変えていくつかのグループに分かれて討論しました。皆がそれぞれの意見を率直に出し合い、最後はそれぞれのグループ代表者が発表をする形でまとめていきました（図3）。

JASMEE now & in the future（日本医学英語教育学会の現状と展望）では、医英検について、2級、3級、4級試験に加えて、本年から開始された1級試験の報告がありました。また、医英検もスタートして8年が経過し、試験会場も全国10カ所に増加、通算の受験者も2,500名に達したこと、本年は昨年に比べて約2倍の受験者があったことが報告され、医英検が益々普及することが期待されました。日本医学英語教育学会の主



図3 ワークショップ開催中の学会場

催による「医学英語論文セミナー」も年2回多くの受講者を対象に順調に行われていることが報告され、さらに、「医学英語教育ガイドライン」を学会として作成してきたものが完成、公表の運びとなりました。これに基づいて学会として教科書を発行することも発表されました。これらは全て医学英語教育の改善に役立つものと期待されます。

これらの特別企画以外にも多くの一般演題が学会員から発表されました（図4）。その内容は、ライティング指導、医療通訳、医療面接、医学英語教育プログラム、ITの応用、など多岐にわたり、質疑応答が時間をオーバーすることもしばしばで、熱気に包まれた2日間でした。私は本学会の理事長の職に引き続きありますので、今回の岡山での学術集会の成果を、本学会の重要活動である医英検のさらなる普及、医学英語論文セミナーの広報、医学英語教育ガイドラインに沿った教科書の作成、そして来年以降の学術集会の成功へと繋げていきたいと思います。



図4 一般口演プレゼンテーション中の学会場

平成27年12月受理  
〒700-8558 岡山市北区鹿田町 2-5-1  
電話：086-235-7336 FAX：086-227-0191  
E-mail：idate333@md.okayama-u.ac.jp